

人工呼吸器回路の交換時期に関する調査報告

人工呼吸器装着患者の早期離床を阻害する要因の一つに人工呼吸器関連肺炎（VAP）がある。VAPの原因に回路の汚染による内腔ルートからの感染があるため、回路を清潔に保つことは重要であるが、CDC ガイドラインでは使用期間による定期的交換を推奨しないと勧告している。今回、医療スタッフに臨床における人工呼吸器回路の交換時期に関するアンケート調査を実施したので報告する。

方 法

調査期間：2017年1月14日～2017年1月28日
調査対象：日本離床研究会教育講座の参加者のうち回答の得られた751名

対象職種：看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他医療スタッフ

調査方法：質問紙法（配布）

●設問

Q1 皆さんの施設（病棟）には人工呼吸器回路の交換に関するルールはありますか？（どれか一つ選択）

●回答選択肢

・ルールがある・ルールがなく個々の判断・わからない・人工呼吸器がない

●設問

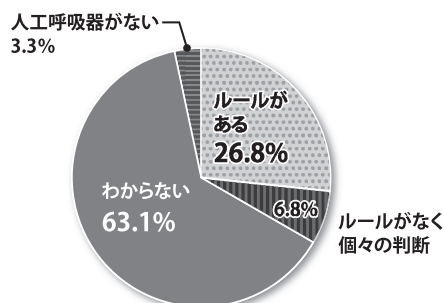
Q2 Q1で「ルールがある」と回答された方に伺います。交換期間はどのくらいですか？（どれか一つ選択）

●回答選択肢

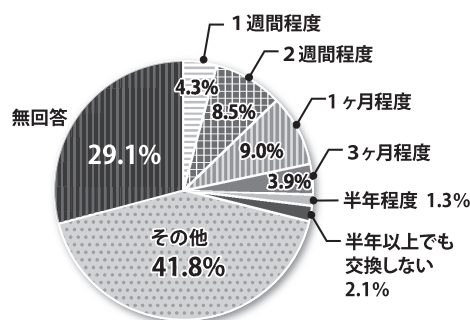
・1週間程度・2週間程度・1ヶ月程度・3ヶ月程度・半年程度・半年以上でも交換しない・その他

結 果

・ アンケート回収総数 751



結果1 回路を交換するルールがあるか



結果2 交換期間はどのくらいか

考 察

人工呼吸器回路を定期交換してもVAPの発生率は変わらないという報告^{1,2)}があるように、本結果では期間で決めて交換している施設が少ないこと、また、交換のルールがあると回答した施設においても、期間で交換しているところは少数であった。

一方でCDCガイドラインはアメリカの医療体制において、回路を交換する人的資源などのコストと、肺炎を発生した場合の費用対効果を比較したときに、回路の定期交換は明確な効果はないとしたものであり、そのまま日本の医療体制に当てはまらないという意見もある。

ガイドラインの情報はあくまでも情報の一つであり、全てを実施する必要はないが、スタッフの配置や使用する機器の状況に併せて、ベストな選択が出来ることが重要であると考えます。

文 献

- 1) Long MN. et al.: Prospective, randomized study of ventilator-associated pneumonia in patients with one versus three ventilator circuit changes per week. Infect Control Hosp Epidemiol 17: 14-19, 1996
- 2) Branson RD: The ventilator circuit and ventilator-associated pneumonia. Respir Care. 50: 774-785, 2005

著者情報：飯田 祥 * 黒田智也 * 土屋 研人 * 曷川元 *
* 日本離床研究会 学術研究部